

令和7年度 福祉ふれあいセンター 管理運営実績シート

内容		計画及び実績等			
事業計画概要		○施設運営に関する業務 ・ 平等な利用の確保と利用率向上への取り組みの実施 ・ 多様な方の働く場（活躍できる場）とする具体的な取り組みの実施 ○生活介護事業 ・ 誰もが安心して過ごし、光り輝ける居場所づくりの実施 （避難訓練の実施、職員研修の実施、利用者が楽しめるイベントの実施）			
事業計画の内、未実施の事業		なし			
経年比較時の参考年度		R6	前年度実績を参考としない場合の理由		
利用実績	R6実績（参考値）		R7目標		R7実績
	【貸館等】		【貸館等】		【貸館等】
	会議室等	10,400人	会議室等	10,000人	会議室等 10,458人
	体育館	8,801人	体育館	5,000人	体育館 9,770人
	【生活介護】	1,460人	【生活介護】	2,360人	【生活介護】 1,530人
利用者満足度	利用者アンケート結果				
	満足	69.3 %	やや不満	0.7 %	
	やや満足	10.6 %	不満	0.8 %	
	どちらともいえない	18.6 %			
事業費（自主事業を除く総額）	収 入				
	費目	R6決算（参考値）		R7予算	R7決算
	指定管理費	43,826,000円		44,034,000円	44,039,000円
	利用料金収入	22,648,244円		27,006,000円	25,040,290円
	自主事業収入	100,000円			19,500円
	補助金等収入				516,135円
	合計	66,574,244円		71,040,000円	69,614,925円

	支 出			
	費目	R6決算（参考値）	R7予算	R7決算
	人件費	31,890,835円	38,574,000円	35,061,905円
	光熱水費	14,500,554円	15,910,000円	13,606,592円
	燃料費			
	修繕費	434,015円	227,000円	409,000円
	委託費	4,114,705円	3,918,000円	4,014,471円
	その他物件費	12,494,870円	11,859,000円	16,522,957円
	※施設の特性等を考慮し、記載可			
	合計	63,434,979円	70,488,000円	69,614,925円
	計 画		実 績	
	○親子で学ぶ手話講座 年1～2回		○モルック体験会 4/23 31名参加	
	○モルック体験会 年1回		○大人の読み聞かせ 5/28 29名参加	
	○施設見学会（地域交流会） 年1回		○ボッチャ体験会 6/26 32名参加	
	○ボッチャ体験会 年1回		○地域交流会（流しそうめん） 7/9 32名参加	
	○大人の読み聞かせ 年1回		○夏休み自習室 7/26～8/24 34名参加	
	○ふれあいセンターまつり 年1回		○ふれあいセンターまつり 9/13 450名参加	
	○燻製教室 年1回		○地域交流会（施設見学） 10/7 22名参加	
	○防災講座 年1～2回		○ふまねっと体験会 11/27 12名参加	

自主事業内容	○車イススポンジテニス 年1回 ○サークル展示会 年1回 ○ふまねっと 年1回 ○ものづくり教室 年1回 ○救命救急講習 年1～2回 ○絵手紙教室 年1回 ○地域食堂（こども食堂） 年3～4回 ○フリーマーケット 年2～3回 ○就労継続支援B型 通年 ○食堂営業（就労支援） 通年	○サークル展示会 12/8～12/13 100名参加 ○冬休み自習室 1/4～1/18 参加者なし ○障がい者スポーツ音卓球体験会 1/25 12名参加 ○救命救急講習 2/10 15名参加
自主事業計画の内、未実施の事業	親子で学ぶ手話講座、燻製教室、防災講座、車イススポンジテニス、ものづくり教室、絵手紙教室、地域食堂（こども食堂）、フリーマーケット	

	計 画		実 績
職員研修等の 実施内容	○職員研修・職員会議 ○職員面談 ○他現場交流・相互監査 ○外部研修への参加の体制づくり ○危機管理・避難訓練		○職員研修・会議・面談 ○法人学習会 ○救急救命講習 ○防災講座 ○虐待防止研修 ○法令順守研修 ○障がいへの理解を深める研修 等
配置人員	R6実績（参考値）	R7計画	R7実績
	施設管理 正規職員 3名 パート等 6名 生活介護 正規職員 6名 パート等 4名	施設管理 正規職員 5名 パート等 5名 生活介護 正規職員 5名 パート等 3名	施設管理 正規職員 3名 パート等 7名 生活介護 正規職員 5名 パート等 3名
指定管理者独 自で行った工 夫、取組等	○利用期間の長短に関わらず、アンケートや対話により利用者の声を平等に聞き取り、可能な範囲で速やかに対応している。 ○障がい特性に配慮した館内表示とするほか、生活介護利用者が展示に参加するなど、施設運営及び事業の実施に工夫が見られた。 ○日常清掃業務や除雪、草刈等を自前で実施する等経費削減に努めている。 ○施設内外の美化に努め、感染症の予防対策も継続して行っている。 ○定期巡回により気づいた点を情報共有し、改善策を検討し速やかに実施している。 ○町内会の行事への参加や、生活介護のイベントや自主事業の運営において、地域との交流や地域貢献に取り組んでいる。 ○新規利用に関する相談や見学の受け入れを積極的に行っている。 ○消防本部や苫小牧警察署から講師を招き、救命救急講習や不審者対応教室を行うなど、利用者の安全を確保するための取組を強化している。		